



みどりの風

第5号

<http://sumiyoshi.shibata.ed.jp/> TEL0254-24-1148



体験を通して一人一人の「実り」が実現する学期に

校長 坂井 智

玄関前に並べられたベゴニアやサフィニアが、夏の暑さを乗り越え、涼しそうに子どもたちを迎えてくれています。「夏休みならでの体験」をして、子どもたちが学校に戻ってきました。

私の「夏の体験」は、各地域のラジオ体操会への訪問でした。6年生が前に並んで見本を示している会場、子どもたちの数よりも高齢者の参加が多いところ、手作りの台の上で町内会長さんが見本を演じているところなど様々で、今年赴任した私にとって各地域の様子は新鮮でした。

夏休み中、子どもたちの中には、毎日のように図書室の本を借りにくる子がいました。また、グラウンドでラジオ体操を終えた後ランニングに取り組む6年生の姿もありました。親子で話し合ってお手伝いを続けた子もいることでしょう。どれもが、この夏休みの貴重な体験です。

教育学者の梶田勲一は、著書の中で体験を三つの種類に分けて説明しています。一つは「流れとしての体験」（生活習慣など）、二つ目は「イベントとしての体験」（思い出となる体験）、そして三つ目は「くさびとしての体験」（心理的に大きく揺さぶられる体験）です（「日本の感性 和魂ルネッサンス」）。梶田は、この体験について、「やりっぱなしで済ますことなく、振り返りによって意識化し、自分の中での吟味検討を通じて経験化していくことが不可欠です」とも述べています。夏休みの生活や思い出を日記に書いたり親子で話し合ったりすることが大切であることを改めて感じております。

9月初旬には、ご家庭と協力して生活習慣改善の取組「住吉パワーアップ週間」を実施いたしました。生活習慣も体験の一つ（流れとしての体験）です。取組へのご協力に感謝申し上げます。

また、2学期は日々の学習の充実に加えて、学習発表会や絵画作品展、マラソン記録会等の大きな行事があります。自然体験教室（5年生）、親善陸上大会（6年生）、音楽交歓会（4年生）など、対外的な行事や宿泊体験などの行事もあります。準備や振り返りをていねいに行い、子どもたちの力が高まるとともに思い出に残る（くさびとなる）よう、実施してまいります。

この2学期、子どもたちが様々な体験等を通して、一人一人の「実り」が確かなものになるよう、保護者・地域の皆様と一緒にしっかりと子どもたちを育ててまいります。今学期も住小の教育活動へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



-
- 現在、グラウンドの設計が進んでいます。順調にいけば、来年度から工事に入る見込みです。工事期間中のグラウンド代替施設、また工事期間の教育課程編制等検討を要する事項が多くあります。夢を膨らませアイデアを出し合い、工事期間を乗り切ってまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
 - 2学期末にスタートした校長通信電子版「響風」を、今学期も続けます。学校の教育活動の様子や学校と家庭教育の在り方等について、学校のWebサイトに掲載しますので是非お立ち寄りください。

全国学力学習状況調査の結果について

この調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象にして毎年実施されているものです。

全国、県の平均正答率については、すでに新聞等に発表（下表）されているとおりです。

新潟県（新潟市含む）は、いずれも全国平均を超えており、上位に位置づいています。また、新潟市（単独）は、全国20政令市で算数B以外はトップという報道もありました。

【参考】

	新潟県	新潟市	全国
国語A：知識	77	78	74.8
国語B：活用	59	61	57.5
算数A：知識	80	81	78.6
算数B：活用	46	48	45.9

当校の6年生の結果は、国語、算数の2教科とも全国平均と比較すると、算数Aが上回り、その他は、同程度か、ほんの少し下回っていました。内容で見ると、国語Aでは「書くこと」の正答率が高く、「話す・聞くこと」「読むこと」が若干低くなっています。算数Aでは「数と計算」「図形」「数量問題」の正答率が高く、「量と測定」が低くなっています。

また、生活アンケートから「家庭学習の時間」については、平日は、1時間以上2時間未満が最も多く、週末は、30分以上1時間未満が最も多くなっています。そして、「全くしない」という回答はありませんでした。全国平均と比較すると、学習時間が少ない子の割合は低いのですが、一方、上位の割合も低くなっています。これは、当校が取り組んでいる、「家庭学習強調週間」取組により一定の成果が出ていると捉えられますが、「学年×10分」という基準が妥当かどうか検討する余地があります。

学校では結果をさらに詳細に分析し、今後の指導に生かしていきたいと考えています。

2学期のスタート「あいさつをしよう」

2学期がスタートし、今全校で取り組んでいるのが「あいさつ運動」です。子どもたちは、学級単位で校門前や玄関、廊下などに立って朝のあいさつの声掛けをしています。朝から元気の良い声を聞くだけで、身体が目覚めるようです。

1学期が終わり、職員で子どもたちの様子について話し合ったときに、大きく成長した部分として出されたのが、

- ・朝会や集会の集合の時間を守れるようになり、話の聴き方がよくなった。
- ・まじめさ、落ち着きが出てきた
- ・縦のつながりと高学年のリーダーシップができてきた。
- ・心の成長が感じられた。

この四つでした。一方、「あいさつ」と「廊下歩行」については、賛否両論でした。このことは、二極化が認められ、全体の底上げができていないということです。よくなっている子が増えてきたものの、改善が見られない子もいるという現実が、他の領域である「学習指導」や「約束事の遵守」「言葉遣い」などにも現れています。頭ごなしの指導ではなく、そうすることの理由や気持ち良さ、学校生活全体への寄与などを体感的に身につけることが大切です。言われなくとも自然にできるようになれば、みんなが気持ちよくなり、学校生活に潤いと向上心が生まれてくると思われまます。

子どもたちの自発的な活動を促し、取組に工夫を加えながら進めることで、地域・保護者の皆様から「住



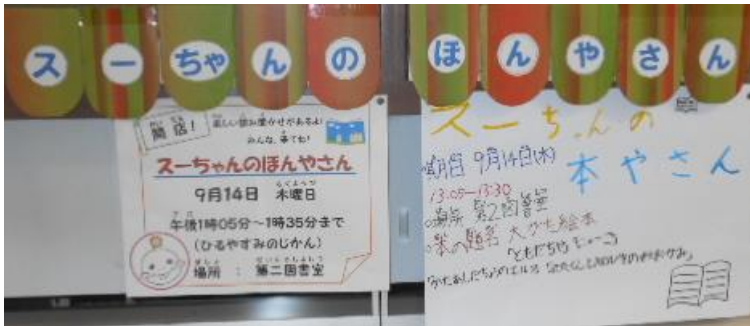
小の子どもたち、最近あいさつよくなってきたな。」そんな感じをもっていただけるようにしていきたいと思ひます。今月、「相手を意識してあいさつしよう」という生活目標のもと、「相手を見て」「元氣な声ではっきりと」「だれにでも」あいさつをするということを目指しています。

地域・保護者の皆様からも子どもたちへの声掛けをよろしくお願ひします。

<お知らせ>

今年度から保護者ボランティアスタッフによる、図書読み聞かせの活動が始まりました。『スーちゃんのほんやさん』という名称で、9月14日が第1回となりました。

参加した子どもたちは、目を輝かせながら絵本の世界に浸っていました。今後も定期的な開催してくれるそうです。

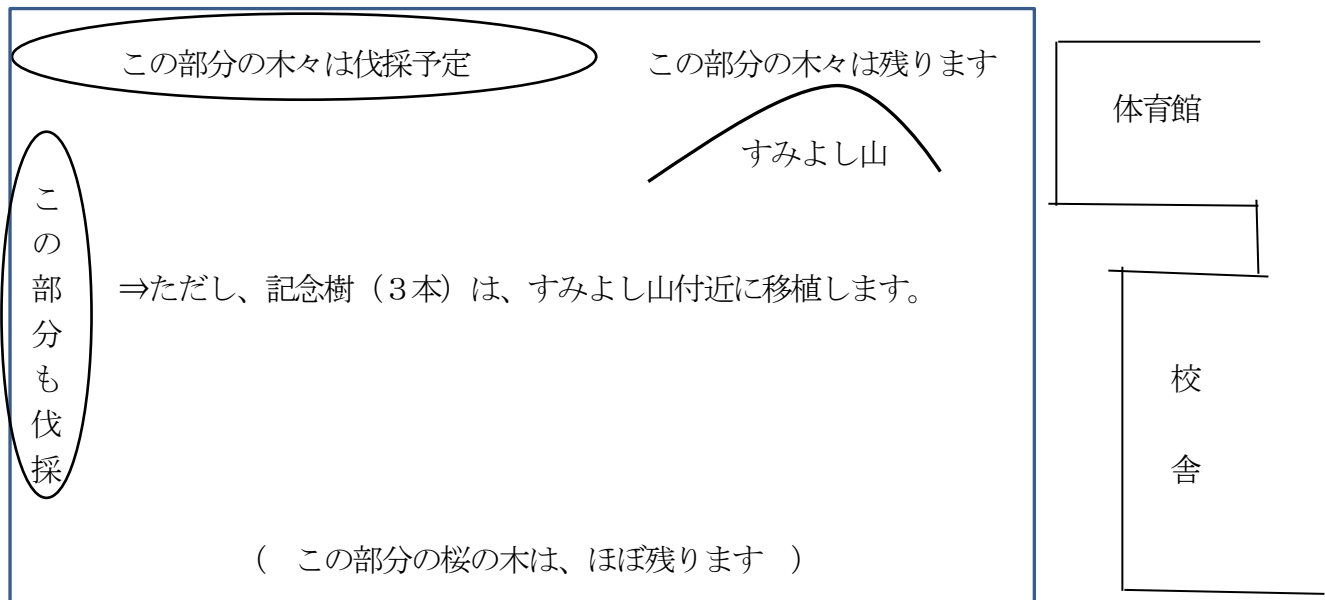


積年の課題、グラウンド改修が動き出す

現在の住吉小のグラウンドは、雨が降るとその後晴れても3日間は使えないという状況です。毎年、運動会の前には、週間予報を気にしながらの開催でした。積年の改修要望が通り、現在、改修工事の実施設計がすすんでおり、次年度から全面改修が予定されています。これ自体は朗報となりましたが、問題は、長期間、グラウンドが全面的に使用できないということです。体育の時間、休み時間はもとより、運動会やマラソン大会に支障が出ます。市教委とも連絡を取りながら、どのように教育活動を進めていくか、今後、検討を重ねていくこととなります。また、今まで、行事のあるごとに職員車をグラウンドや理科室脇に駐車し、できる限り前庭のスペースを空けるようにしていましたが、この機会に不足している駐車場の問題も解決できるように打ち合わせをしていきます。さらに、現在、利用されていない中庭についても整備して、子どもたちが遊びや運動で使えるようにしていこうと案を練っています。今後は、保護者、地域の皆様のお知恵をお借りすることもあろうかと思ひますので、ご理解ご協力のをよろしくお願ひいたします。



<現段階での構想>





～それいけ! 執行ブ～

コウのひとりごと

コウは秋が好きだ。うだるような暑さが去って、心地良い風が吹くようになると心が弾む。屋上の秘密基地からふとグラウンドを見下ろせば、マラソン記録会に向けて懸命に練習している子どもたち。苦しそうな友達を励ます子。励まされてもう一度走り出す子。そんな光景を眺めながら、ああやっぱり住小の子どもたちはいいなあと温かい気持ちになる。秋といえばバザーがある。執行部の男性陣と助っ人の皆さんが作る親父の鍋、「住吉鍋」がとんでもなく美味しいのは調査済みだ。毎年当たり前のように繰り返される鍋づくりにも、一年一年工夫が凝らされている。いまや雑用係のブーの大好物で有名になっているけれど、コウも住吉鍋は大好きだ。前に報告書に書いた二種類の味噌を使っていることの他に、最近発見した秘密がもうひとつ。コクを出すために豚肉だけでなく油揚げを入れている。変わらない美味しさは、実は小さな変化を繰り返すことで生まれるものなのかもしれない。毎年、当たり前のようにめぐってくる秋にも一回一回変化があるように。マラソン記録会に学習発表会、読書週間。秋を重ねるたびに子どもたちも変わっていく。いや、気付かなかった子どもたちの成長に気付かされるだけなのかなあとコウは思う。毎日毎日少しずつ。その一步一步は小さいけれど、気付いたときには驚くほどの成長がある。そんな子どもたちに目を細め胸を熱くする秋。ふうっと幸せなため息をついたとき。「コウ! 執行部に新たな動きだ。行くぞ!」基地からシーの声がした。県民の集いへの参加、バザーの準備やあいさつ運動と、執行部も専門部も子どもに負けず一生懸命だ。「はい!」コウはチャキッとぐるぐる眼鏡をかけた。

(文責: PTA 執行部 本保貴美子)

[9月後半の予定]

- 19 (火) 特別時程 6年貧血検査
- 20 (水) 5年生給食後下校
- 21 (木) ~ 22 (金) 5年体験教室 (胎内)
- 25 (月) 委員会活動
- 26 (火) 1年校外学習 (紫雲寺記念公園)
- 28 (木) 6年親善陸上大会 (グリーンスタジアム)
- 29 (金) 6年親善陸上大会予備日

[10月の予定]

- 3 (火) なかよし交流会 (サビレッジ) 全校朝会
- 4 (水) マラソン記録会 科学研究発表会
- 6 (金) マラソン記録会予備日
- 10 (火) 集金日
- 11 (水) スマイル児童朝会
- 15 (日) 敬老会 (住小会場)
- 16 (月) クラブ活動
- 17 (火) 全校歯科検診
- 18 (水) スマイルタイム
- 19 (木) 就学時健康診断
- 23 (月) 委員会活動
- 28 (土) 創立40周年記念学習発表会
- 30 (月) 振替休業日



「とらい夢」の講師による陸上指導(6年)

※年間行事予定では、『人権・同和教育参観日、PTA講演会』が11月15日(水)でしたが、講師のご都合により、11月17日(金)に変更になりました。後日、案内が出ます。